

鯉淵学園同窓会報 第92号

平成30年12月15日

発行：鯉淵学園同窓会

〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町 5965

TEL:029-259-2811 FAX:029-259-6965

http://koibuchi.main.jp/

編集・印刷：同窓会事務局

〒121-0831 足立区舎人3-11-26 EPS

TEL 03-5839-3456代

FAX 03-5839-3460



# 鯉学 同窓会報



## 東京農業大学と包括連携協定締結

農村社会の活性化と若い優れた担い手の確保に全力を

日頃の同窓会活動に感謝

同窓会会員の皆様には日頃から同窓会活動に対してご支援・協力をいただき深く感謝申し上げます。昨年11月には第33回同窓会大会を開催し、沖繩代表など全国の多くの支部から参加をいただき盛大に実施することができました。これもひとえに同窓生の絆の強さと学園に対する母校愛の賜と理解しております。

学園教育環境の変化

ここ数年少子化の進展、大学進学率が50%を超える高学歴化などの影響を受けて、学園への入学者数も定員割れが続くなど厳しい状況にあります。学園では経費削減を進め、産学連携や農場収入向上などの経営改善を進めてまいりました。しかし、収入のキーポイントは学生確保です。



同窓会長  
九石 裕

会長挨拶

学生数を多くするために同窓会の皆様にも大いに尽力していただいております。

優れた学園教育の特徴

卒業してから学園教育を振り返ると、やはり一番の良さは学友との交流、切磋琢磨ではないでしょうか。全国の仲間と交流でき、自由に学びあう事のできる環境は他の大学には少ないと思います。そして最近産学連携を通して企業型大規模酪農経営や東京農業大学との連携強化で大学編入も容易となっており、実践力とアカデミックな学習環境が整備されています。

入学生募集への協力

私立大学の40%が定員割れの現状で、有名大学でも学生獲得競争に力を入れていきます。鯉淵学園の卒業生が活動する農村地域では特に若い担い手を必要としています。同窓会では今年の学生募集の協力の具体的方法として、卒業3年までの若い卒業生の皆さんにミニ広報誌「鯉淵自慢」の配布（主に出身高校）、現役の農協役員には入学対象者の推薦を依頼しました。ご協力いただいた方には感謝申し上げます。今後とも同窓生の皆様には引き続きご協力をお願いいたします。

## 学園長挨拶

### 学園改革の経過と

#### 当面する課題



学園長  
近藤 博彦

#### 1 学園改革の取り組み

##### (1) 学生の募集

平成21年度から学園は2年制に移行し、入学生は同窓会の募集への協力もあり、4年制時の50名前後から80名前後に回復しました。しかし、東日本大震災とその後の福島原発事故の影響もあり、平成24年の入学生は68名にとどまりました。

学園を存続するためには、学生を確保する必要があります。学生募集活動に加えて、学生の関心を重視した教育の展開として、授業内容の見直し、資格取得、就農・就職支援、農場実習の充実などに取り組みしてきました。しかし、少子化による18歳人口の減少、大学全入時代の到来、農業就業人口の減少などにより、年度によって増減はありましたが、入

学生の先細り傾向を克服できずに推移してきています。

##### (2) 自立経営の取り組み

行財政改革により、農林水産省の約1億円の補助金は減少を続け、期待できない状況となり、JAグループ全国連の約3千万円の寄付金も平成27年度から廃止されました。

補助金に依存しない経営を目指し、産業界、研究機関、行政等と産学官連携事業に取り組みできました。市町村・JAとの就農支援協定の締結、JAグループ茨城との外国人技能研修生の法定研修の実施、畜産農場の(有)瑞穂農場への一部貸与と園芸農場のJA全農いばらき(株)NCSへの一部貸与、東京農業大学との人材育成に係る包括連携協定の締結、イセ食品グループとの海外留学生の受け入れ事業の展開などがその例です。

##### (3) 経営資源の活用

補助金の削減等に伴い、教職員の給与や人員の削減、経費の抑制等の合理化を進めてきましたが、収入の減少が大きく、積立金の取り崩しや同窓会の寄付金で収支の均衡を図らざるを得ない状況が続いています。

学園の経営資源を生かすために直売所・レストラン・加工施設などの採算性の確立、学童の農業体験や社会人の農業研修事業の展開、園芸農場・畜産農場の運営方法の改善などに取り組みしています。しかし、財政

事情等から、施設投資、要員の育成確保、セールス活動などを十分に展開できずに撤退を余儀なくされた事業もあります。

#### 2 経営の危機と対応の方向

##### (1) 留学生入国できず

30年4月に計画した国際農業コースへのタイからの留学生30名が、入国要件の日本語能力の拡大解釈の適用を受けられず、入国できないこととなりました。厳しさが続いた協会・学園の経営は、受け入れ準備に要する経費増に見合う収入がなくなり、一気に危機的状況に直面することとなりました。

##### (2) 1年遅れの新スキームで受け入れ準備

日本に入国できずタイで待機している留学生に対応するため、法務大臣告示で認める日本語学校経由で一年遅れの受け入れ新スキームを構想し、準備を進めています。しかし、企業との産学連携による受け入れスキームは、留学生が資格外活動(アルバイト)を行う場合などにおいて、入管法、労働基準法等の制約があり、様々な課題に直面しております。

##### (3) 理事会で対応策を検討

こうしたことから、理事会で今後の学園経営を中長期的に展望した対応策を検討しており、当面、協会・学園の経営を継続するために、銀行融資の拡大や土地の活用等により、

必要な資金を調達することになっています。

また、資金の調達とともに事業・組織の合理化等により財政の健全化を進め、しかるべき学校法人等に打診し、経営参画や協同事業等も検討することとしています。また、こうしたことを進めるため、所管する茨城県や農民教育協会の設立・運営に関係したJAグループ全国連等に状況を説明し、支援と協力を要請することも検討しています。



東京農業大学生受入れ授業の様子

学園の若きスタッフたち



講師  
平澤朋美 (東京農大卒)  
(静岡県出身)

平成23年の4月から勤務し、今年で8年目となります。食用作物、有機農業の講義と農業生産実習(有機農業)を担当しています。  
本学園の有機ほ場は平成14年に有機JAS認証を取得し、年間約30種類の野菜栽培を実践しています。



化学肥料や農業に頼らずにいかに上手に栽培するか、有機農業には、環境に優しい農業を実践するためのヒントがたくさん隠されていると思います。講義・実習を通して有機農業の魅力や農業の楽しさ、厳しさも体感してもらいたいと思っています。将来の農業者の育成に尽力していきます。



主事補 篠原由美 (70期卒)  
(茨城県出身)

昨年の3月に学園を卒業し、畜産農場に勤務して今年で2年目になります。

主に搾乳や給餌、人工授精など牛の飼養管理や農場実習の対応を行っています。

自分が未熟であることや、年齢が近いことで学生との接し方に悩むこともあります。学生の考え方がわかりやすい立場から、作業などの一つ一つを理解し、身につけていく手助けが少しでもできるようにしていきたいと思っています。

タネまきから食卓までの一貫教育を支えています



講師 勝山由美  
(女子栄養大学卒)  
(茨城県出身)

今年の4月より、食品栄養科の講師として勤務しています。人に教えることの難しさを日々感じながら仕事をしています。

現在、臨床栄養学の分野の講義を担当しています。糖尿病や高血圧など、病気と食事の関係や、予防のための食事、嚥下障害に対応した食事



主事 橋本恵理 (63期卒)  
(岩手県出身)

について、実習を交えながら教えています。  
学生は話を聞いても結びつかない様子ですが、校外学習や就職した後、少しでも役立つような講義をしていきたいと思っています。

鯉淵学園を卒業後、食品栄養科の助手として採用していただき、今年で9年目となりました。

調理実習や講義をはじめ、調理技術検定の実施や就職活動への取り組み等、学生が栄養士になる上で必要な知識と技術を得るための様々なサポートをしています。

子育てをしながらの仕事で大変なことありますが、学生から元気なパワーをもらいながら日々頑張っています。

また、卒業生が学園を訪ねてきてくれることが嬉しく、楽しみの一つでもあります。学園を懐かしく感じたら是非足を運んで近況報告を聞かせてください。

# 新入学生の抱負



アグリビジネス科  
園芸組合コース 1 年  
大西浩司  
(北海道出身)  
北海道室蘭清水丘高校卒

私が鯉淵学園に入学したきっかけは、進路で悩んでいた高校 3 年生の時、地元北海道で鯉淵学園出身の方から紹介があったことです。

地元からも遠く、気候も全く違うところでの生活に不安が大きかったです。専門的な農業の知識を身に付けたいと思い入学を決意しました。現在私は寮で生活していますが、1 部屋 2 人で過ごしているため、相手に迷惑をかけないようにと入学当初は苦労しました。徐々に慣れてきて今では楽しく生活することができています。

授業では基礎的なことから専門的なことまで幅広く勉強することができています。特に農業簿記・会計の勉強はこれからの農業でいかに帳簿への記録が大切であるかを理解した上で、専門的な会計の知識をしっかりと身につけたいと思います。これからも力を入れて頑張っていきたいと思います。

また、農場実習では果樹・露地野菜・施設野菜・有機露地野菜・水田などの中から選択して実習を行います。それぞれの特徴を理解し、体を使っての作業はともやりのんびり勉強になります。

鯉淵学園を卒業した後は北海道へ戻り、父親の後を継いでトマトの栽培をしたいと考えています。学園で学び得た知識を生かし、いずれば父親の作るトマトよりも美味しいトマトを作っていけたらと思っています。



アグリビジネス科  
畜産コース 1 年  
上野 星 (きらら)  
(沖縄県出身)  
沖縄県立中部農林高校卒

私の家は非農家ですが、曾祖母が趣味で養鶏と畑作を行っていました。休日はその手伝いをしていました。その時から農業に少し興味を持っていました。幼いときから犬好きなので私はトリマーの基礎資格が取れる地元の農業高校へ進学し、そこで養鶏を学びました。

実習では屠殺実習を行い、命の有

り難さについて教わるとともに、愛玩動物と経済動物・産業動物についての違いも理解しました。

高校卒業後は大学への進学を希望していましたが、叔母から鯉淵学園を紹介されました。鯉淵学園は広大な農場の他、瑞穂農場との連携により、先進的な畜産が学べることと、家畜人工授精師や受精卵体内移植師など、取得できる資格の多さに魅力を感じて鯉淵学園への入学を決めました。

親元を離れ、初めての寮生活は礼儀や人間関係などについて学ぶことが多く、戸惑うこともありましたが、楽しく過ごしています。

将来の目標は畜産系を希望していますが、「農業高校・農業の専門学校の卒業生だ！」と胸を張って言えるような畜産のスペシャリストになりたいです。その夢に近づく第一歩だと信じ、現在は充実した学園生活を送っています。



学園銀杏並木 (内原十景)



食品栄養科  
岩間涼音  
(茨城県出身)  
水戸女子高等学校卒

私はもともと料理をすることが好きで栄養の分野に興味を持ち、鯉淵学園の学校見学会を機に入学を決意しました。

栄養士とは何か、どのような現場で働くのかを学びながら、鯉淵学園での生活を楽しんでいます。



食品栄養科  
中岡葉菜  
(香川県出身)  
香川県立  
農業経営高等学校卒

私が鯉淵学園に入学した理由は、特待制度があったからです。特待制度の条件として入寮することや、朝夕の学生食堂での特別実習があります。辛いこともありますが、栄養士としてのスキルが身につくと思います。

私は香川県から来たので不安も多いですが、何とかやっています。

学園の教育現場からの発信 研修・農場部門の取り組み



研修・農場  
グループリーダー  
講師 秋葉勝矢  
(46期卒)

日頃より本校へのご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。同窓生の皆様へ現在の農場部門、並びに研修部門のご報告をさせていただきます。

◎農場部門では・・・

作物・園芸農場ではNCSアグリサポート株式会社及びJA全農茨城県本部との共同事業契約に基づき、NCSが作物・園芸農場面積10.5haの内、約1.2haを使用して小松菜の周年栽培やネギ、生姜等の生産を行い、本校の実践的な教育実習農場として活用しています。

畜産農場では、有限会社瑞穂農場との業務提携により、産学連携モデルを構築して、収益改善と人材育成及び確保を目的とした取り組みを行っており、同時に学生の教育の場として活用しています。

◎研修部門では・・・  
本校独自の研修「チャレンジファ



東京農業大学生の農業総合実習

ームスクール」のほかに、茨城県からの委託研修事業、幼稚園や小・中学校の農業体験学習、市民講座、国際研修等を行っております。  
また、東京農業大学との農業人材育成に係わる協定締結を基に、今回東京農大の学生154名の農業総合実習を実施いたしました。  
以上のように研修・農場部門では外部との連携を強化し、本科生の教育を基本として、様々な事業に取り組んでおります。

全国同窓生の活躍紹介 (敬称略)

全国厚生農業協同組合連合会の  
会長に就任



長野県諏訪郡富士見町  
雨宮 勇  
(23期卒)

長野県農業協同組合中央会会長の雨宮勇氏が、平成29年7月27日付けで全国厚生農業協同組合連合会会長に就任しました。任期は平成32年7月までです。

同氏は平成23年に長野県信州諏訪農業協同組合長に、平成28年からは長野県農業協同組合中央会長に就任しております。

第40回農協人文化賞受賞者紹介

今年度の受賞者17名の中で、鯉淵学園卒の2名の農協関係の方が受賞されました。  
営農事業部門で受賞



長野県伊那市  
牛山喜文  
(23期卒)

氏は、長野県上伊那農業協同組合代表理事専務理事として、新規就農者育成に力を注ぎ、農業インターン研修支援事業を立ち上げ、組合員の子弟、インターン、Uターン者の受け入れを行い、就農者の定着に貢献しました。

また、伊那市、JA、鯉淵学園で三者協定を締結し、学生の研修受け入れを行っています。

学園で培った協同組合精神を糧に、営農指導から始まる総合事業を基軸とした農協づくりをはじめ、自ら地域リーダーとして集落営農組織を立ち上げ法人化を進めて地域のモデルケースとなっています。

一般文化部門で受賞



広島県三次農業協同組合  
代表理事組合長  
新田 靖  
(20期卒)

氏は、昭和40年に広島県三次農協に入組以来、常に農家組合員・役員と共に一丸結束を信条として、卓越した先見性と行動力で農協運動を先導し、多くの成果を築き上げました。地域農業振興と農村社会の活性化に向けて、農家組合員と共に常に現場を見据えた「くらしづくり」「地域づくり」を使命とした農協運動は全国の模範となっています。

若い卒業生の職場紹介



アグリビジネス科  
川上あゆみ (70期卒)

平成28年に鯉淵学園を卒業し、今年度から母校へ戻ってきました。慣れないことも多いですが、先生方にご指導頂きながら一日でも早く、一つでも多く作業を覚えていきたいと思っています。

また、自分自身も楽しい学園生活を送ることができました。先輩となる学生たちにも楽しい学園生活であったと言ってもらえるような環境と関係を創っていききたいです。



地域で耀き食と農に挑戦するリーダーたち (敬称略)

北の大地で  
新しい野菜栽培を目指す



北海道伊達市  
菅原俊和 (32期卒)  
(伊達市農業委員会会長  
・北海道指導農業士)

地域の概況

伊達市は札幌市と函館市の中間に位置しています。

明治の初めに宮城県亘理町から移住した人達が開拓し、耕地面積が少ないため、野菜基幹経営の地域です。

経営の特徴

学園卒業後、長野県とアメリカで2年間農業研修し、レタスに魅せられました。就農後はレタスを基幹に野菜複合経営を行っています。

畑の利用頻度が高いので、地力増強に緑肥を導入し、減農薬・減化学肥料でエコファーマー認証を受けました。

販売は市場の他に、地元スーパー、道の駅、大手コンビニとの契約栽培で収入の安定化を図っています。また、ホームページ、ブログ、フェースブック等で情報発信しています。

農産加工・販売への挑戦

地元農産物のPRと高付加価値を目指し、農業者有志・異業種の仲間と加工組織「お伊達本舗」を立ち上げ、キムチ、塩こうじ、唐辛子を製造販売しています。

また、独自に通販サイトを立ち上げ、加工品や農産物のインターネット販売を行っています。



お伊達キムチ



香港向けホワイトアスパラガス

これからの課題と展望

異業種の仲間達と連携して飲食業への販売や香港向けのホワイトアスパラガスの輸出を開始し、生協組合員と連携して食育活動にも取り組んでいます。

担い手の高齢化と若い就農者不足の解決策として将来法人化を検討しています。鯉淵魂はいつの時代も変わらず、大きな励みや糧になっております。



レタス畑と有珠山

# 第33回同窓会大会結果

平成29年11月18日(土)に鯉淵学園農業栄養専門学校3号棟教室において開催しました。

提案された第1号議案、第2号議案の平成28年～29年度事業報告並びに収支決算報告と、平成30年～31年度事業計画並びに収支予算(案)は原案どおり可決承認されました。

第3号議案の鯉淵学園への預託金5百万円の全額寄付については、平成29年8月31日付けで公益財団法人農民教育協会理事長から同窓会長に協会財務の強化のため、寄付金として全額拠出要請があり、最終決定は同窓会大会に諮り決定することにしたものです。

学園の教育環境整備並びに財政支援に役立てることで提案どおり承認されました。

この預託金は、10年前に学園存続運動を展開した時に、その運動基金として全国の同窓会員から寄付を頂いた大切な基金であり、これまで学園には同窓会からの奨学資金として預託し、活用を図ってきたところです。

特に学園には、同窓会本部の財政運営も極めて厳しい状況の中で、学園に全額寄付する旨大会決定した背景を充分理解して頂き、有効に活用されるよう書面にて申し入れをしました。

第4号議案の新年度役員選任については、現在の学園運営の厳しい状

況を鑑みて、全員留任して支援体制を継続することで承認されました。なお、意見として現常任委員に30期以降の若い役員が少ないため、地元茨城支部を軸に補充を検討するよう提案されたので、具体化に向け検討することになりました。

## 新役員名簿(任期30年～31年度)

会長	九石 裕 (23期卒 栃木)
副会長	西村勝夫 (22期卒 茨城)
	黒澤賢治 (25期卒 群馬)
	倉辻芳次 (19期卒 茨城)
常任委員	卜部泰郎 (19期卒 千葉)
	志村 隆 (23期卒 神奈川)
	新関八千代 (23期卒 静岡)
	牛山喜文 (23期卒 長野)
	五十嵐竹男 (23期卒 福島)
	江幡ゆき子 (23期卒 茨城)
	清川完司 (24期卒 埼玉)
	高木義枝 (26期卒 栃木)
	入江三弥子 (29期卒 学園)
	石塚 仁 (33期卒 学園)
	富岡忠明 (44期卒 東京)
	秋葉勝矢 (46期卒 学園)
	浅津竜子 (47期卒 学園)
	中橋友幸 (48期卒 茨城)
	大久保美保 (55期卒 学園)
監事	羽生重男 (26期卒 茨城)
	平沼常雄 (26期卒 茨城)
	高橋隆三 (9期卒 茨城)
	須田哲也 (16期卒 茨城)
顧問	近藤博彦 (学園長)

# 常任委員・監事合同会議結果

平成30年6月23日(土)、東京都千代田区「コープビル」において開催しました。

鯉淵学園の当面の課題について学園長から報告がありました。

①国際農業コース開催延期について

今年度タイ国から留学生30名を受け入れ、開講する準備をしていましたが、東京入国管理局から在留資格が得られず、開講延期となりました。

②学生募集の取り組みについて

募集目標を80名として、ホームページやSNSの活用、高校訪問、学校見学会等の活動を展開しています。

同窓会からの報告

①学園内支部体制について

6月20日に支部会を行い、新役員が選出されました。

②同窓会会計中間報告について

同窓会永年会費・年会費・寄付金の納入実績等の報告があり、同窓会報の印刷会社を変更したことによりコンビニ振込が可能となり、納入者が増加しました。

協議事項

①研修生受入農家リスト作成  
来年6月を刊行予定とし、家族経営型や法人等の卒業生の事例を各県一件程度リストアップする。

年内の発行を目指して編集方針・編集内容について協議しました。

③新常任委員の選任

欠員の出た常任委員を学園支部から一名選任しました。

④同窓会ホームページ管理者選任

学園支部から新管理者を選任しました。  
財政上の課題については、学生の授業料だけでは経営が成り立たないので、企業から協賛金を集めるなど企業努力をして貰いたい等の意見が出されました。



### 同窓会新任支部長の紹介

(平成26年3月以降に支部長に新任した方)(敬称略)

北海道	中井 弘 (23期)
岩手県	高橋 勝 (26期)
山形県	長橋 雅司 (28期)
東京都	野澤 ゆう (56期)
福井県	安実 正嗣 (24期)
長野県	小出沢清人 (25期)
岐阜県	熊谷 悦近 (19期)
三重県	北川 勝己 (23期)
和歌山県	松浦 義人 (23期)
島根県	仙石 晃 (20期)
山口県	田中 耕二 (25期)
愛媛県	大塚 俊秋 (25期)
福岡県	三島 守人 (26期)
長崎県	尾崎 原喜 (27期)
熊本県	井 晴生 (26期)
宮崎県	杵崎 安子 (24期)
沖縄県	前田 実 (30期)
学園	秋葉 勝矢 (46期)

### 学園支部の新体制

同窓会学園支部が発足してから約2年、同窓会大会などの行事へ内部から協力をさせて頂いております。学園支部立ち上げに伴い、初代支部長としてご尽力くださった26期の小沼和重氏が、誠に残念ながら、今春病に倒れご逝去されました。

このことを受け、去る6月20日に支部会を開催し、今年度からの新メンバーを含めて新体制を整えました。

支部長	秋葉 勝矢 (46期)
副支部長	羽生 重男 (26期)
支部会員	入江三弥子 (29期)
"	石塚 仁 (33期)
"	浅津 竜子 (47期)
"	磯野 卓司 (50期)
"	大久保美保 (55期)
"	高瀬 努夢 (60期)
"	根本香代子 (60期)
"	橋本 恵理 (63期)
"	遠藤 理史 (68期)
"	篠原 由美 (70期)
"	川上あゆみ (70期)
"	山城 里樹 (71期)

### 九州県人会集會

平成29年8月28日から29日の1泊2日の日程で九州県人会が宮崎県宮崎市青島で開催されました。九州県人会は三年毎に開催でブロック内を各県支部が当番県となつて準備、当日の運営にあたっています。

今回開催についても、宮崎県支部長21期卒の甲斐次男氏を中心に万全の準備をしておりました。当日の参加者は40名を超過して盛況でした。開催内容も懇親会の他にかなりの時間をとって各県支部の活動状況の報告と交流など活発な発言

がありました。



九州県人会

### 四国ブロック集會

平成29年11月25日から26日に松山市道後温泉において、愛媛県支部總會及び四国地区同窓会が開催されました。四国地区は農協関係の役員が多いのが特徴です。そのため、4県間の連絡態勢がよく、まとまった活動が展開されています。地区大会で会員からの質疑応答では、①学園の教育課程(学科編成と教育の特徴)

### 岩手県支部集會

平成29年11月4日(土)に紫波郡紫波町のラ・フランス温泉館「ホテル湯楽々」で会員14名が集い、支部總會を開催しました。總會の前に研修としてホテルからほど近い「山王海ダム」を見学し、長い水争いの歴史を経て、一市二町



四国ブロック集會

②四国出身の在学生の有無③将来の学園運営の方向などが出されました。また、今年7月の西日本豪雨の被害が愛媛県で大きかったようです。特に大洲市や西予市の被害が甚大でした。改めてお見舞い申し上げます。



岩手県支部集会

の3千8百ヘクタールを潤す水源を見学しました。国営土地改良事業として平成2年から同13年にかけて世界にも他に例のない嵩上げ工法で完成したダムです。

研修後、総会を行い、平成28年度の活動報告と収支決算、平成29年度の活動計画・収支予算(案)を協議し、原案どおり承認されました。次回開催地については、盛岡地区に決定しました。

役員改選は、現支部長の高橋勝氏(26期)の再任と新たに副支部長に千田由春氏(25期)を選任しました。続いて、同窓会本部の倉辻事務局長より学園の運営状況と同窓会本部の活動について報告を受けました。懇親会では、紫波町特産の自園自醸ワインを酌み交わし、学園時代の

思い出話で大いに盛り上がりました。最後に全員で寮歌を歌い、次回の開催地「盛岡」で元気に再会することを誓いました。

### 沖縄県支部集会



沖縄県支部集会

平成30年1月27日、28日に那覇市の「サザンプラザ海邦」において3年ぶりに開催しました。

沖縄支部会員は170名あまり、九州ブロックでは鹿児島県に次ぐ多い支部で、卒期は15期以降の若い会員が特徴です。今春も沖縄県立高校卒業の女子学生が鯉淵に入学しています。

総会内容は3年間の活動報告、会計報告が中心で、新支部長には30期

卒の前田実氏を選出されました。同氏は「J.Aおきなわ」の経営管理委員をつとめております。喜久山前支部長には十年あまりの長きにわたり本当にご苦労様でした。

### 山口県支部集会



山口県支部集会

平成30年3月17日、18日の1泊2日で新山口駅前の「山口グランドホテル」で開催しました。

藤井隆之支部長(16期)のもと、12名が参加して、「遙かにかすむ筑波峰」の学園生活を思い出し、当時の懐かしい話に花が咲きました。欠席された仲間からのメッセージも紹介され、会員の意志統一を図り、有意義な集会となりました。

当日は同窓会本部から監事の平沼常雄氏(26期)が出席され、学園の

近況として畜学連携した酪農場の運営状況と同窓会本部の活動等の報告がありました。

支部役員の改選については、会長に田中耕二氏(25期)、副会長に原均氏(24期)が新任し、事務局長には坂本文男氏(26期)が再任されました。

### 同期会の活動紹介

#### 13期生集会



13期生集会

平成28年10月11日、12日の1泊2日で長野県大町市の立山黒部アルペンスルット信州大町温泉郷の「立山プリンスホテル」で盛大に開催しました。

参加者は北は東北から南は九州まで18名(男性14名、女性4名)が集い、学園時代の思い出話や各人の社

会活動・近況などを語り合い、大町の地酒や料理を楽しみながら有意義な一時を過ごしました。  
 北海道や茨城の仲間が欠席したのが残念でした。幹事は地元大町市の五十川渡氏、千曲市の若林久登氏が担当しました。

### 19期生集会



19期生集会

19期生会は昭和41年に東京で開催して以来、今回で13回目を迎えました。今回は東京の池間茂雄氏が発起人となり、千葉、茨城、栃木の有志で企画しました。  
 平成29年10月24日～25日の2日間、

東京銀座キャピタルホテルに51名(内「夫婦11組」)が参加し、2年ぶりの元気な姿で再会でき、懐かしさと楽しさで大いに盛り上がりました。初日の懇親会では、参加者全員が壇上で自己の存在感を2分間スピーチで昔懐かしい頃の思い出や近況などについて語り合いました。

サプライズで北海道の石橋孝一さんから個展時に使用した「誕生日花」を、出席者の誕生日に合わせた「誕生日花」の蔵書票としてプレゼントして頂き、大切な記念品となりました。2日目は「はとバス」のお台場・スカイツリー観光で、スカイツリーから眺めた雨の東京も格別で記憶に残ったと思います。  
 次回は2年後に元気で鹿児島で再会できることを楽しみにしております。

### 23期生集会

平成29年10月22日から24日にかけて福岡県で第14回23期生会が開催されました。

参加者は59名で内夫婦・家族の参加者が8組ありました。  
 同窓会長からの学生募集に苦勞しているという学園の近況報告には、150名余りの同期がいた頃との様変わり、溜息が漏れておりました。2日目は、門司港や厳流島などの北九州散策を楽しみました。  
 美味しい郷土料理と恒例の全国から持ち寄った味自慢のご馳走と懐か

しい話で、お腹と気持ちがいっぱいの同期会でした。  
 今回は新潟です。また元気に集まることを約束して散会しました。



23期生集会

### 25期生集会

2年ごとに開催している25期の同期会は、愛媛県から引き継ぎ、平成30年9月2～3日に山形県天童温泉で開催しました。53名の参加に幹事一同感謝感激です。

級友との語らい、同期生のブドウ園でのブドウ狩り、山形名物の芋煮会。オプシオンで最上川の舟下り、羽黒山の五重塔の見学などの体験。オプシオン2日目は台風21号のため余儀なく計画変更となり、悔しくも思い出に残る同期会となりました。  
 夫婦での参加も多く、次回は大大

県に元気で結集することを確認し、散会となりました。



25期生集会

### 27期生集会

平成30年2月25日～26日に兵庫県有馬温泉「銀水荘兆楽」で開催、37名(男性23名・女性14名)が参加しました。会は3年毎に開催し、今回は兵庫県が幹事で近府県の仲間の協力を得て進めました。懇親会ではお互いの近況報告を行い、最後には全員で肩を組み寮歌を斉唱しました。  
 久しぶりに再会した級友と懐かしい学生時代や寮生活の思い出を語り合い、夜遅くまで時間を忘れるほど盛り上がりました。  
 2日目はバス観光で、「西宮のえ

べっさん」として親しまれている西宮神社を参拝した後、日本酒をテーマとする「白鹿記念酒造博物館」で酒造りの行程や、酒にちなむ美術工芸品等を見学しました。続いて神戸市北野の異人館街では「萌黄の館」、「風見鶏の館」等を見学しました。

今回は富山県宇奈月温泉での再会を約束して散会しました(同窓会兵庫支部日より第12号より転載)。



27期生集会

### 32期生集会

平成29年11月26日〜27日に茨城県大洗町の「オーシャンビュー大洗」



32期生集会

で開催し、北海道から沖縄県に至る全国各地から参加がありました。

恩師として安藤先生と入江副学園長をお招きし、ご夫婦やお子さん、お孫さんと一緒に参加された方もあり、同期生36名、同伴者を含め44名の参加となりました。

還暦は過ぎましたが、仕事や親の介護と忙しい日々の合間をぬって、学園を一目見ようと5年ぶりの茨城県での再会となりました。

懇親会では、先生方から学園の厳しい運営状況や維持に向けた思いを聞くことができ、時間を忘れ夜遅くまでお互いの近況報告や学生時代の

思い出話に花が咲きました。

今回は3年後に熊谷誠毅さんの幹事で宮城県で開催する予定です。

(文責 大橋晃市)

### 45期生集会

第3回目の同期会を平成29年11月25日〜26日に、静岡県伊豆の国市の「二久石」で開催しました。

北は北海道、南は九州から男性12名、女性4名が参加しました。

第1日目は三島駅に集合し、日本一長い吊り橋のスカイオークから富士山を眺め、イチゴ狩りや源頼朝のゆかりの里などを見学しました。

夜の懇親会では寮生活当時そのままの学園生に戻り、各自持ち寄った地酒を酌み交わしながら学園時代の思い出話や現在の心境等を語り合い、大いに盛り上がりました。

2日目は開催中の「伊豆の国農業まつり」を見学しました。次回開催地は平成32年に福井県の予定です。



45期生集会

### 石垣牛の育成一筋に励み 秋の黄綬褒賞受章



沖縄県石垣市  
多宇 司  
(36期卒)

鯉淵学園卒業の多宇司氏が、石垣牛肥育で地域活性化に貢献されたことが認められ、今秋の黄綬褒章を受章しました。

氏は学園卒業後、父親と共に肉用牛経営に取り組み、その後経営移譲され、放牧を活用し、効率的で高品質な繁殖牛の育成や石垣牛の肥育を行っております。6次産業化として自前の肥育牛を活用した飲食店も開店しています。

氏はこれまで石垣牛の肉用繁殖経営で数々の受賞歴があり、平成20年には沖縄県農林漁業賞、第47回農林水産祭畜産部門で天皇杯受賞、同祭全国草地畜産コンクールで農林水産大臣賞を受賞する等、輝かしい功績を上げてきました。

氏の背中を見て後継者も鯉淵学園を卒業し肥育牛経営に取り組んでおります。

石垣牛の増産と活用による地域活性化に向けて、更なる挑戦を続けております。



追悼

謹んでご冥福をお祈りいたします。

富山	神奈川	東京都	群馬	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	秋田	秋田	秋田	北海道	北海道	
23期	23期	46期	7期	71期	30期	29期	26期	25期	19期	10期	7期	通2期	通2期	
澤本 光央 平成30年	小島 金吾 平成29年	高柳 太志 平成29年	関口 義明 平成29年	小橋 絵美 平成30年	小貫 愉生 平成30年	小沼 和重 平成30年	宮本 正道 平成30年	磯山 茂男 平成30年	伊藤 富男 平成29年	小西 三治 平成29年	佐野 和男 平成29年	上坂 與吉 平成30年	工藤 完 平成29年	

大分	熊本	山口	山口	山口	山口	島根	兵庫	兵庫	京都	京都	京都	京都	京都	京都	福井	石川	
23期	通2期	12期	9期	5期	3期	23期	24期	2期	通1期	16期	8期	7期	4期	2期	1期	20期	4期
広瀬 真一 平成29年	久藤 幸市 平成24年	中村 一郎	阿本 正	本田 郁二	藤永 一憲 平成29年	永島 哲雄 平成30年	藤本 敏雄 平成30年	正木 浩二 平成30年	檜木 三好 平成30年	小西 英彦 平成28年	安田 千冬 平成28年	足立 優 平成28年	藤井 文信 平成29年	金田 裕章 平成28年	稲上 知 平成28年	保珍 良市 平成30年	番場 敏男 平成29年

住所不明者一覧

埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	栃木	栃木	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	福島	福島	山形	山形	秋田	岩手	岩手	北海道	北海道	北海道	
54期	51期	50期	26期	69期	59期	71期	70期	70期	69期	69期	66期	65期	62期	59期	56期	21期	64期	47期	34期	研10期	選41期	40期	36期	通5期	68期	16期	
新井 杏子	遠藤 敦史	當 隼人	芦田 一夫	池田 理紗	関谷 良美	関野 紘子	佐藤 康丞	山田 康平	埴 翔太	間宮 未悠	山根 優芽	山家 佐予	田中 奏美	水戸友紀子	前 賢治	鈴木 順子	森 紀男	藤野 和徳	高田 幸江	加藤 智子	長谷部俊子	中嶋 浩之	小関 和一	小館 君代	佐藤 秀夫	柴田 恭平	大西 繁松

沖縄	沖縄	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	山口	広島	岡山	島根	和歌山	愛知	静岡	岐阜	福井	福井	石川	新潟	新潟	神奈川	神奈川	神奈川	東京	東京	千葉	千葉	千葉
62期	35期	通1期	56期	54期	43期	42期	2期	62期	38期	1期	9期	71期	通2期	42期	32期	40期	54期	41期	64期	57期	2期	70期	2期	選49期	57期	3期
狩俣 泰基	中川 貞則	久保 隼人	上別府 博	毛下 晃	上之園 透	吉本 忠司	仲野 勝	下川 淳史	福田 仁志	小橋伝次郎	波方 頼政	山本 泉	竹中 敏美	山脇 俊一	松山 和美	濱谷 智	斉藤美紗子	小出 範誉	廣瀬芽以子	小笹 龍哉	宮川 英一	菊池 愛美	江草 恵	福寄 順子	鈴木 紀江	荒木 隆男



会費及び寄付金納入者

納入期間 平成29年7月1日〜平成30年11月30日  
この期間に納入された方のみ掲載いたしました。

徳島	山口	島根	兵庫	兵庫	兵庫	静岡	長野	長野	長野	山梨	新潟	東京	東京	千葉	千葉	千葉	千葉	栃木	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	福島	福島	山形	山形	宮城	岩手	岩手	青森	北海道	北海道	永年会費	
23	56	21	32	31	4	70	30	25	15	26	26	33	4	60	41	41	32	44	70	46	37	35	23	21	15	11	45	35	39	35	52	27	21	23	28	23	
期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期
逢坂	水津	石原	釜地	新田	奥山	大山	小池	唐木	植松	佐藤	宮島	大沼	磯部	菅生	菅生	車田	鈴木	橋本	秋葉	鬼沢	飯田	小林	信太	小原	大志	武部	園部	岸木	鈴木	及川	藤村	川本	佐々木	中井			
新治	大志	克美	秀徳	義孝	隆治	真布	達泉	義真	裕行	延昇	絵理	友淳	智美	義博	悦夫	陽満	勝子	哲茂	健裕	時一	博海	大志	裕新	遥剛	政隆	和子	幸枝										

茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	福島	福島	山形	山形	山形	秋田	秋田	宮城	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	岩手	青森	北海道	北海道	北海道	28年	茨城	27年	年度会費	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	愛媛			
27	25	25	23	22	18	7	45	23	37	22	2	17	14	29	53	33	26	21	17	14	3	65	33	19	5	32	28	29	28	32	46	42	38	35	30	25	
期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期
飛田	三浦	小橋	齋藤	方波	浜野	松田	武田	北郷	小嶋	伊藤	工藤	小坂	西田	三神	木戸	木古	高橋	佐藤	菅原	芳賀	守屋	庭田	中川	升井	岩井	大里	大城	嵩原	平良	仲宗	前田	大塚					
元雄	喜美	環博	見亘	耕平	暄信	大志	清一	義剛	泰明	慶治	貞夫	和子	真紀	修一	勝功	正東	高美	祐介	悦生	文夫	敏明	誠	健忍	朝一	英英	寬志	俊秋										

長野	山梨	福井	福井	石川	富山	新潟	新潟	新潟	神奈川	神奈川	神奈川	東京	東京	千葉	千葉	千葉	千葉	千葉	千葉	千葉	千葉	千葉	群馬	群馬	群馬	栃木	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城		
13	62	57	2	47	30	3	3	1	16	13	4	31	19	52	32	32	23	23	22	18	4	31	51	34	2	61	68	66	63	62	60	51	50	49	31	31		
期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期
若林	原上	井口	笹下	山桑	高富	三富	古川	金子	福田	真弓	西山	石沢	池間	室川	木村	木村	中川	中川	勾坂	高橋	鈴木	新井	手島	女屋	清水	赤羽	下村	宮本	木村	益子	塚本	埜口	中野	中野	沼尻	川村		
久登	美和	憲勝	弘藏	雅稔	正敏	富夫	鉄太郎	千枝	俊壽	茂雄	玲子	悦子	美代子	利雄	明弘	仙次	寛之	啓子	克典	真奈	佳之	好作	泰卓	晃大	正夫	美恵子	智之	宏文	久子									

岩手	山形	29年	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	鹿兒島	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	熊本	熊本	長崎	佐賀	高知	香川	山口	広島	広島	広島	島根	和歌山	奈良	兵庫	兵庫	兵庫	大阪	京都	京都	京都	三重	愛知	岐阜	岐阜	岐阜	岐阜	長野	長野	長野			
4	25	67	46	36	35	3	38	33	25	24	23	29	25	16	28	61	25	22	49	46	35	64	24	65	28	23	14	3	45	23	10	1	2	31	25	10	7	38	35	29				
期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期
田村	齊藤	福濱	大城	砂川	仲宗根	持留	七島	日高	龍崎	老曾	間曾	松本	本口	山口	松尾	西之内	有馬	段田	小笠原	向井	福田	原友	松浦	田中	武久	田中	奥田	野村	井上	奈良	加藤	青木	岩田	福井	佐々木	須川	丸山	平出	北原	清隆				
信一	純	由美子	忍正	寛志	正道	幸男	安洋	博志	安子	周一	功	千恵子	武宏	雅樹	俊一	恭範	晃之	正樹	剛士	友恵	克仁	佐知	正篤	久隆	孝枝	昭吉	芳子	真	利夫	整	利夫	やよい	教公	宏	茂	実	雄一	隆						



同封物の見方



- 1 あなたの整理番号です。
- 2 現在、同窓会でお預かりしているあなたの情報です。

変更のある方はいずれかをご利用下さい。

- ①フリーダイヤル
- ②フリーFAX

- 3 年会費の振込用紙です。コンビニエンスストア・郵便局よりお振込み願います。
- 4 ・同窓会寄付金お振込みの方は金額を記入の上郵便局よりお振込み願います。  
・永年会費は下記の表1をご参考に該当する金額を記入の上郵便局よりお振込み願います。

年会費及び永年会費、寄付金の振り込み用紙です。ご協力をお願いします。



表1 永年会費納入案内

(永年会費は年会費を一括納入するものです)  
平成30年3月の新卒業生は71期生

卒業後の経過年数	卒期	金額
新卒業生～5年	71期～67期	40,000円
6年～10年	66期～62期	37,500円
11年～15年	61期～57期	35,000円
16年～20年	56期～52期	32,500円
21年～25年	51期～47期	30,000円
26年～30年	46期～42期	27,500円
31年～35年	41期～37期	25,000円
36年～71年	36期～1期	22,500円

会費・寄付金納入のお願い

同窓会費の未納会員が多いため会の財政が逼迫し、活動が大変困難になっております。現在、永年会費を取り崩して同窓会を運営しておりますが、先行き運営ができなくなる窮地に立たされています。特に、会員名簿登録データの保存管理や同窓会の要である同窓会報の発行には多額の経費がかかっております。このまま未納会員が多くなると同窓会報の発行が出来なくなり、会員各位にはご負担をおかけいたしますが、永年会費を納入くださるようお願いいたします。卒業後間もない若い会員の方々には永年会費は大きな負担ですので、年会費(2年分3千円)の納入にご協力くださるようお願いいたします。

災害お見舞

今年6月に発生した大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震と、稀なる大きな災害に見舞われました。罹災された鯉淵学園卒業生の皆さんに心からお見舞い申し上げます。

連日の報道によりまして信じられないことが起きており、その被害の甚大さに本当に驚きました。

厳しい生活環境の中で、ご心労が多い中とは存じますが、一日も早く復旧なされまして、心休まる日が迎えられるようご祈念申し上げます。

前回国報記事訂正のお詫び

このことについて執筆者並びに記載内容に関係する方々に大変ご迷惑をおかけいたしました深くお詫び申し上げます。訂正いたします。訂正箇所は次のとおりです。

- 「同期会集会」の出席者数訂正  
前回同窓会報9ページの「20期生会」の出席者77名を27名に訂正。
- 「同窓生の活躍紹介」の中で市町村・農協団体のトップリーダーの氏名訂正。

(ア) 現職市町村議会議員で活躍する方々で、山形県鶴岡市議会議員の加藤紘一氏を加藤紘一氏に訂正。  
(イ) 現職農業協同組合長として活躍する方々で、岩手県岩手中央農業協同組合長の久慈宗悦氏を久慈宗悦氏に訂正。

同窓会事務局 Tel 0120-10-9899 (内線155) 平日10:00~17:00  
-お問い合せ- Fax 0120-10-9184 (終日受付)